



「孫正義」氏はソフトバンクGを買い増し「前澤友作」氏はZOZOを売却 2021年5月の大量保有報告書



M&A

Online編集部が大量保有データベースで2021年5月の大量保有報告書の提出状況を調べたところ、ソフトバンクグループ株について4度、報告書の提出があった。

同社創業者の孫正義氏が2度（合計5.55%）買い増し、保有割合を32.01%に高めた。孫氏は保有割合の変更について「共同保有者の減少担保契約等重要な契約の変更」などとしている。

このほか野村証券も1.24%買い増し、保有割合を8.97%としたのをはじめ、米投資会社の日本法人ブラックロック・ジャパンは新規に5.15%を保有した。

フラッグシップはペッパーフードを9カ月連続で売却

ZOZO創業者の前澤友作氏は、ZOZO株について2度報告書を提出した。一度は2.26%売却し、保有割合を11.07%に引き下げた。もう一度は「保有株券等に関する重要な契約の変更」を理由に変更届を提出した。

投資会社のフラッグシップアセットマネジメント（東京都港区）が、経営再建中のペッパーフードサービスを4度売却（合計6.3%）し、保有割合を20.33%に引き下げた。同社は2020年9月から毎月保有株式を売却しており、2021年5月で9カ月連続となる。このほかペッパーフードサービスについては、SB証券が0.04%買い増し、保有割合を5.14%にした。

丸紅は報告書を11度提出した。本店所在地の変更が理由だが、スクロールについては0.13%売却し保有割合を8.15%にしたほか、オカモトは0.29%増やし7.36%に、アインホールディングスは0.5%引き下げ4.5%にした。同じく総合商社では伊藤忠商事がシグマックスを新規に保有し、保有割合を8.85%としほか、ヒラノテクシードを1.05%買い増し8.57%に、プリマハムを1.03%買い増し、49.67%にそれぞれ保有割合を高めた。

4月に東芝株を新規に7.2%保有した、シンガポールの資産運用会社の3Dインベストメント・パートナーズについては、5月に動きはなかった。

2021年5月の大量保有報告書の提出件数は875件で、このうち保有割合を増やしたのが228件、新規保有が114件、保有割合を減らしたのが449件、契約の変更などが84件だった。

文：M&A Online編集部